

# 交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2023年12月15日

No.6

## 2024年3月ダイヤ改正の提案を受ける

中央本部は2024年3月ダイヤ改正について提案を受けました。主な内容は以下の通りです。(詳細は別紙参照)

### 《2023年3月ダイヤ改正の主な内容》

#### 1. コンテナ輸送

##### (1) 中距離帯輸送の商品力強化・輸送力拡大

- ① 関東⇄関西間の速達化・輸送力拡大
- ② 関東→広島間の輸送力拡大
- ③ 関西→九州間の輸送体系変更(安定輸送対策を含む)

##### (2) 関東⇄北海道間輸送体系の変更

##### (3) ブロケットレインの速達化・専用部分拡大

##### (4) サービス向上

- ① 北陸新幹線敦賀延伸に伴う日本海縦貫線の速達化
- ② 新潟⇄関西間の紙製品増送要望に伴う輸送体系変更
- ③ 東海→広島間の自動車部品増送要望に伴う既存列車の輸送体系変更
- ④ 海上コンテナ増送要望に伴う既存列車の輸送体系の変更
- ⑤ 横浜羽沢着リードタイム改善
- ⑥ 飲料増送要望に伴う既存列車の輸送力の再配置
- ⑦ 大型コンテナの輸送ルートの拡大

##### (5) 需要動向等を踏まえた輸送体系の見直し

- ① 曜日運休列車の設定
- ② 南延岡駅輸送終了に伴うフィーダー輸送見直し
- ③ ご利用実態に合わせた駅営業時間の見直し(下関)
- ④ 本線機関車による入換化(秋田貨物駅)

#### 2. 車扱輸送

- (1) 中央東線の石油列車の高速貨化
- (2) 千葉貨物発着倉賀野向け石油列車輸送力拡大
- (3) レール輸送終了に伴う名古屋港駅廃止(2023年度末)
- (4) 安善駅CTC化(2024年3月予定)

#### 3. 安全性及び安定輸送対策

- (1) 電磁ブレーキ使用列車・区間拡大

#### 4. 設備投資

- (1) 機関車…合計15両(EF210形式:8両、EF510形式:7両)
- (2) コンテナ…合計2,900個(20D形式:1,100個、20G形式:1,400個、V19形式:400個)
- (3) フォークリフト…68台(12ft用34台、20ft用16台、トップリフター18台)

#### 5. 列車計画規模(一日あたり)

コンテナ174,900<sup>キ</sup>(△0.0) + 車扱9,900<sup>キ</sup>(±0.0)  
= 合計184,800<sup>キ</sup>(△0.0)

#### 6. ダイヤ改正日 2024年3月16日(土)(予定)

## 会社：中距離帯をメインターゲットにした輸送量の拡大を推進する

2024年3月ダイヤ改正について、会社は「2024年問題による物流ニーズの変化を分析し、中距離帯をターゲットにした地域間輸送力の見直しやブロックレインの専用部分の拡大など、輸送量の拡大の取り組みを推進する。」との考え方を明らかにしました。

## 組合：要員問題や老朽化した設備改善は会社としての責務である！

提案を受けるにあたり中央本部は、「2024年問題に対して、国や自治体は鉄道貨物輸送に対する期待は大きくなっている。その受け皿となるJR貨物がどのように対応するのか問われている。信頼され利用される鉄道貨物輸送をつくり出していかななくてはならない。しかし、職場では要員問題をはじめ、老朽化した設備や建物などが点在している。これらの問題を解決することは会社としての責務であり、しっかりとした基盤を構築することが重要である。来年度から、あらたな中期経営計画がスタートする。『鉄道物流のあり方に関する検討会の中間とりまとめ』に基づく提言を踏まえてKGI/KPIの達成にむけた輸送機材の確保をすること。また、効率化による経費削減を行うことで、安全を蔑ろにすることがあってはならない。地方協議を尊重すること。」と主張しました。

中央本部は今後申し入れを行い、①欠員に対する要員対策。②被評価者数過多となっている職場への評価者適正配置。③100%子会社であるロジ会社の在り方・使命。④女性が従事できる職場と業務の在り方。⑤乗務労働の特殊性を勘案した休養時間の確保など議論していきます。あわせて各地方本部と連携を図り問題点・課題の解決にむけて取り組みます。

以上